(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3555993号
(P3555993)
(45)発行日　平成16年8月18日(2004.8.18)　(24)登録日　平成16年5月21日(2004.5.21)

(51)Int.Cl.[7]　F I
A61F 13/56　A61F 13/18 350
A61F 13/15　A61F 13/18 332
A61F 13/515

請求項の数 5　(全 9 頁)

(21)出願番号　特願平6-226553
(22)出願日　平成6年9月21日(1994.9.21)
(65)公開番号　特開平8-89530
(43)公開日　平成8年4月9日(1996.4.9)
審査請求日　平成12年10月5日(2000.10.5)

(73)特許権者　000001959
株式会社資生堂
東京都中央区銀座７丁目５番５号
(74)代理人　100068191
弁理士　清水　修
(72)発明者　那須　美恵子
神奈川県横浜市港北区新羽町１０５０　株式会社資生堂開発研究所内
(72)発明者　井下　喜好
神奈川県横浜市港北区新羽町１０５０　株式会社資生堂開発研究所内

審査官　植前　津子

最終頁に続く

(54)【発明の名称】生理用ナプキン

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

透水性の表面シートと非透水性の防漏シートとの間に、表面シートおよび防漏シートよりも幅狭な体液吸収性の吸収層を介装してナプキン本体を形成し、このナプキン本体の防漏シート側の外面にショーツ内面への止着部を形成するとともに吸収層の両側の防漏シートおよび表面シートの一部を外方に膨出して膨出部とし、この膨出部の表面シート側の両側に、ナプキン本体とは別体の一側折返片と他側折返片とを止着固定し、この一側折返片と他側折返片とを表面シートの上面に位置すると共にベルクロスファスナーテープで形成し、使用時に、防漏シート側に折り返した一側折返片と他側折返片とを、ベルクロスファスナー部により、ショーツの外面側で接続固定可能に形成した事を特徴とする生理用ナプキン。

【請求項２】

透水性の表面シートと非透水性の防漏シートとの間に、表面シートおよび防漏シートよりも幅狭な体液吸収性の吸収層を介装してナプキン本体を形成し、このナプキン本体の防漏シート側の外面にショーツ内面への止着部を形成するとともに吸収層の両側の防漏シートおよび表面シートの一部を外方に膨出して膨出部とし、この膨出部の表面シート側の両側に、ナプキン本体とは別体の一側折返片と他側折返片とを止着固定し、この一側折返片と他側折返片とを表面シートの上面に位置すると共に選択接着テープにより形成し、使用時に、防漏シート側に折り返した一側折返片と他側折返片とを、選択接着部により、ショーツの外面側で接続固定可能に形成した事を特徴とする生理用ナプキン。

【請求項３】
膨出部は、表面シートの両側に５㎜～25㎜で膨出したものである事を特徴とする請求項１、２の生理用ナプキン。
【請求項４】
膨出部は、表面シートの長さ方向に於て、50㎜～120㎜の長さに形成した事を特徴とする請求項１、２の生理用ナプキン。
【請求項５】
他側折返片は、一側折返片の形成幅よりも幅広に形成した事を特徴とする請求項１、２の生理用ナプキン。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【産業上の利用分野】
本発明は、ショーツに固定して使用する生理用ナプキンに係るものであって、使用時のズレを防止しようとするものである。
【０００２】
【従来の技術】
従来、生理用ナプキンをショーツの内面に配置する場合に、ショーツの内面と外面への止着固定部を設けたものが知られている。この従来方法は、ナプキン本体の防漏シート側の外面に、ホットメルトを塗布してショーツ内面への止着部を形成する。また、ナプキン本体の両側を一体的に突出してウイング部を形成し、このウイング部の防漏シート側にホットメルトを塗布してショーツの外面への貼着部を形成する。そして、この止着部をショーツの内面に止着するとともにウイング部をショーツの外面に折り返し、貼着部をショーツの外面に止着して、生理用ナプキンをショーツに固定し、使用時のズレを防止しようとするものであった。
【０００３】
【発明が解決しようとする課題】
しかしながら、上記の従来方法は、ホットメルトのみを用いた方式によってショーツの内外面に止着固定するため、このホットメルトを被覆するための離型紙が必要となり、この離型紙を剥離したり、廃棄するために手間が掛かり、使用者に多くの負担を掛けるものであった。
【０００４】
また、止着部をショーツの内面に固定した後、ウイング部のホットメルトをショーツの外面に止着固定する場合、ショーツの股下部からウイング部を両側に突出し、このウイング部をショーツの外面側に折り返して行う。しかしながら、この作業は、使用者の眼の届きにくいショーツの外面側にて行うため、使用者は手探りの状態で作業を行っている。そのため、粘着力の強いホットメルトが、使用者の手に接触して纏わり付いたり、適正な止着位置からズレて他の位置に付着し、止着作業に多くの手間が掛かるものであった。
【０００５】
また、上記の従来方法は、ナプキン本体の両側に突出するウイング部を、防漏シートの外面側に折り返している。しかしながら、この従来方法は、防漏シートの外面側にウイング部を折り返しているため、ショーツの内面にナプキン本体を止着しようとすると、折り癖の付いて邪魔になるウイング部を一旦外方に広げてから、止着部をショーツの内面に止着する必要があり、ショーツへの止着に手間が掛かるものであった。また、異なる従来方法に於ては、ナプキン本体の両側にウイング部を一体的に突出し、このウイング部を、表面シートの表面側に折り返したものが存在する。しかし、この方法は、ナプキン製造時のライン上で、ウイング部を折り返すため、折返し作業に手間が掛かり、ウイング部を表面シート側に強く折り返さないと、ウイング部が表面シートから立ち上がり、ナプキンを正確に折り畳む事ができないし、個装袋に入れにくいものであった。
【０００６】
また、ウイング部を防漏シートの外面側に折り返す従来方法は、この折り返しによって硬

くなった折部が、ナプキン本体の両側に突出し、これが、使用者の肌に擦れて、使用感を悪くするものとなっていた。

【０００７】

また、従来方法は、下記の理由によって、資材の無駄が多く、コスト高となっていた。即ち、従来方法は、ホットメルトのみを用いてショーツへの止着固定を行うため、使用時に於て、無駄に廃棄する離型紙の量が多く、不経済なものとなっていた。また、上記の従来方法は、ナプキン本体の両側から幅広のウイング部を、表面シート、防漏シート等によって一体的に形成するため、ウイング部の突出幅で表面シート、防漏シートを準備しなければならず、ウイング部を形成しない方式のナプキンに比し、製造時に使用する資材の幅を大きくする必要があった。また、この従来方法は、ナプキン本体の両側の一部からウイング部を突出するのみであるから、カットして無駄に廃棄される資材の量が多く、製造コストが割高になる欠点を有していた。

【０００８】

本発明は上述のごとき課題を解決しようとするものであって、ショーツの内面と外面への止着固定部を設けた生理用ナプキンに於て、ショーツへの固定に手間を掛けず、簡易な止着固定を行うとともに使用感の良い装着を可能にしようとするものである。また、資材を有効に利用して、廉価な製品を得ようとするものである。

【０００９】

【課題を解決するための手段】

本発明は上述の如き課題を解決するため、第１の発明は、透水性の表面シートと非透水性の防漏シートとの間に、表面シートおよび防漏シートよりも幅狭な体液吸収性の吸収層を介装してナプキン本体を形成し、このナプキン本体の防漏シート側の外面にショーツ内面への止着部を形成するとともに吸収層の両側の防漏シートおよび表面シートの一部を外方に膨出して膨出部とし、この膨出部の表面シート側の両側に、ナプキン本体とは別体の一側折返片と他側折返片とを止着固定し、この一側折返片と他側折返片とを表面シートの上面に位置すると共にベルクロスファスナーテープで形成し、使用時に、防漏シート側に折り返した一側折返片と他側折返片とを、ベルクロスファスナー部により、ショーツの外面側で接続固定可能に形成した事を特徴とする。

【００１０】

また、第２の発明は、透水性の表面シートと非透水性の防漏シートとの間に、表面シートおよび防漏シートよりも幅狭な体液吸収性の吸収層を介装してナプキン本体を形成し、このナプキン本体の防漏シート側の外面にショーツ内面への止着部を形成するとともに吸収層の両側の防漏シートおよび表面シートの一部を外方に膨出して膨出部とし、この膨出部の表面シート側の両側に、ナプキン本体とは別体の一側折返片と他側折返片とを止着固定し、この一側折返片と他側折返片とを表面シートの上面に位置すると共に選択接着テープにより形成し、使用時に、防漏シート側に折り返した一側折返片と他側折返片とを、選択接着部により、ショーツの外面側で接続固定可能に形成した事を特徴とする。

【００１１】

また、膨出部は、表面シートの両側に５ｍｍ～２５ｍｍで膨出しても良い。

【００１２】

また、膨出部は、表面シートの長さ方向に於て、５０ｍｍ～１２０ｍｍの長さに形成しても良い。

【００１３】

また、他側折返片は、一側折返片の形成幅よりも幅広に形成しても良い。

【００１４】

【作用】

本発明は上述の如く構成したものであるから、生理用ナプキンを使用するには、まず、股下まで降ろしたショーツの内面に、ナプキン本体の防漏シート側の止着部を止着する。このナプキン本体は、膨出部の表面シート側の両側に、一側折返片および他側折返片を止着

固定している。そのため、折り返し前の一側折返片および他側折返片は、表面シートの上面に位置し、ショーツ内面の止着部側への垂れ下がりを防止する。このため、止着部を直ちにショーツの内面に止着でき、手間を掛けず、簡便な止着が可能となる。

【００１５】

次に、一側折返片および他側折返片を膨出部から外方に折返した後、ショーツを引き上げて着用する。そして、ショーツの股部から両側に突出する一側折返片および他側折返片をショーツの外面側に折り返す。

【００１６】

この折り返し方法は、一側折返片をショーツの外面側に折り返した後、この一側折返片の外面側に重ねて他側折返片を折り返す。この折り返しによって、一側折返片のベルクロスファスナー部と、他側折返片のベルクロスファスナー部とが係合し、一側折返片と他側折返片とは、ショーツの外面側で接続固定できる。また、一側折返片および他側折返片は、ベルクロスファスナーテープにより形成する代わりに、選択接着テープによって形成する事も可能である。

【００１７】

このように、生理用ナプキンは、ナプキン本体をショーツ内面に固定し、さらに、一側折返片および他側折返片を、防漏シートの外面側で接続固定するから、使用者の激しい運動等にもズレを生じにくく、ショーツの股部に一体的にフィットして固定でき、安定した装着が可能になる。

【００１８】

また、一側折返片および他側折返片は、ホットメルトや離型紙の不要なベルクロスファスナーテープまたは選択接着テープによって形成するから、離型紙を廃棄する手間が掛からず、使用者の負担を大幅に軽減する事ができる。また、使用時に剥離して廃棄される離型紙の使用量を少なくする事によって、資材の有効な利用を行い、廉価に形成する事ができる。

【００１９】

また、一側折返片および他側折返片を形成する、ベルクロスファスナーテープおよび選択接着テープは、同一種類の部材または特定の部材にのみ止着を可能とする。そのため、使用時に於て、従来方法の如く、使用者の手にホットメルトが纏わり付いたり、止着位置が外れた場所に付着してしまう事がなく、使用者に手間を掛けず、簡便で確実な接続固定作業が可能になる。

【００２０】

また、一側折返片と他側折返片との一端を表面シート側に固定し、この一側折返片と他側折返片とを固定した膨出部は、固定部を防漏シート側に折り込んでループ状に折り返す。そのため、折返片との止着固定によって硬くなった固定部は、側面に突出する事なく、防漏シート側に折り返した膨出部によって被覆される。このため、固定部は使用者の肌に接触する事がなく、肌への違和感を防止して、装着感を良好とする。

【００２１】

また、生理用ナプキンは、従来方法のウイング部とは異なり、一側折返片および他側折返片をナプキン本体とは別体の資材で形成している。そのため、表面シート、防漏シート等に、ウイング部の突出幅を考慮する必要がなく、ナプキン本体からウイング部を一体的に形成する従来方式の生理用ナプキンに比し、幅の小さい資材の使用が可能となり、資材を有効に利用して、廉価な製品を得る事が可能となる。

【００２２】

また、膨出部を、表面シートの両側に５ｍｍ～２５ｍｍで膨出すれば、体液が横方向に拡散を生じた場合も、膨出部が体液の移動を阻止し、横漏れを防止できる。また、膨出部は、表面シートの両側に５ｍｍ未満で膨出すると、横漏れ防止効果が小さいものとなる。また、膨出部は、表面シートの両側に２５ｍｍを超えて膨出すると、表面シートおよび防漏シートを大きな幅で準備しなければならず、カットして無駄に廃棄される資材の量が多くなって、製造コストが割高となる。また、膨出部を、表面シートの両側に、１０ｍｍ～２

０ｍｍで膨出すれば、さらに望ましいものとなる。

【００２３】

また、膨出部を、表面シートの長さ方向に於て、５０ｍｍ～１２０ｍｍの長さに形成すれば、体液の長さ方向の移動を充分に阻止する事ができ、横漏れ防止効果が高い。また、膨出部は、５０ｍｍ未満の長さで形成すると、体液の移動を充分に阻止する事ができず、横漏れを生じ易いものとなる。また、膨出部は、１２０ｍｍを超えた長さで形成すると、装着時に弧状に湾曲変形するナプキン本体の形状に膨出部が対応しきれず、シワ等が発生して、装着時に違和感や横漏れを生じ易いものとなる。また、膨出部を、表面シートの長さ方向に於て、７０ｍｍ～１００ｍｍの長さに形成すれば、さらに望ましいものである。

【００２４】

また、他側折返片は、一側折返片の形成幅よりも幅広に形成すれば、ショーツ外面側に折り返した一側折返片のベルクロスファスナー部または選択接着部の表面を、幅広の他側折返片によって確実に被覆する事ができる。そのため、使用者が着用するストッキングに、ベルクロスファスナー部または選択接着部が接触する事がなく、ストッキングの伝線、傷等を防止し、使用感を良好とする。

【００２５】

【実施例】

以下本発明の実施例を図面に於て説明すれば、（１）は防漏シートで、ポリエチレン等の非透水性の素材により形成し、裏面に、図２に示す如く、ホットメルト等によってショーツ内面への止着部（２）を形成する。また、この止着部（２）を、使用時まで離型シート（３）で剥離可能に被覆する。

【００２６】

また、防漏シート（１）は、図２に示す如く吸収層（４）を表面に載置する。この吸収層（４）は、コットン、パルプ、吸収性高分子等から成り、防漏シート（１）よりも幅狭に形成する。

【００２７】

また、防漏シート（１）および吸収層（４）の表面に、メッシュシート、不織布等の透水性の表面シート（５）を載置し、図２に示す如くナプキン本体（６）を形成する。このナプキン本体（６）は、吸収層（４）の外周に、図１、図２に示す如く表面シート（５）と防漏シート（１）とから成る外周フラップ（７）を形成する。

【００２８】

また、ナプキン本体（６）は、吸収層（４）の両側の防漏シート（１）および表面シート（５）の一部を外方に膨出して、図１に示す如く膨出部（８）を設ける。この膨出部（８）は、表面シート（５）の両側からの膨出間隔（１０）を５ｍｍ～２５ｍｍで形成する。このように形成すると、体液が横方向に拡散を生じた場合も、膨出部（８）が体液の移動を阻止し、横漏れを防止できる。また、膨出部（８）は、膨出間隔（１０）を５ｍｍ未満で形成すると、横漏れ防止効果が小さい。また、膨出部（８）は、膨出間隔（１０）を２５ｍｍを超えて形成すると、表面シート（５）および防漏シート（１）を大きな幅で準備しなければならず、カットして無駄に廃棄される資材の量が多くなる。

【００２９】

また、膨出部（８）は、図１に示す表面シート（５）の長さ方向に於ける長さ間隔（１１）を、５０ｍｍ～１２０ｍｍで形成する。このように形成すると、体液の長さ方向の移動を充分に阻止する事ができ、横漏れ防止効果が高い。また、膨出部（８）は、長さ間隔（１１）を５０ｍｍ未満で形成すると、体液の移動を充分に阻止する事ができず、横漏れを生じ易い。また、膨出部（８）は、長さ間隔（１１）を１２０ｍｍを超えて形成すると、装着時に弧状に湾曲変形を行うナプキン本体（６）の形状に対応しきれず、シワ等が発生し、装着時に違和感や横漏れを生じ易い。

【００３０】

また、この膨出部（８）は、図１、図２に示す如く、表面シート（５）側の両側に一側折返片（１２）と他側折返片（１３）とを止着固定する。また、本実施例に於て、一側折返

片（１２）は、オス型のベルクロスファスナーテープによって形成し、表面シート（５）に対向する内面側にオス型のベルクロスファスナー部（１４）を位置する。また、他側折返片（１３）は、メス型のベルクロスファスナーテープによって形成し、外面側にメス型のベルクロスファスナー部（１５）を位置する。

【００３１】

また、他側折返片（１３）は、図１に示す如く、一側折返片（１２）の形成幅よりも幅広に形成する。このように形成すると、一側折返片（１２）と他側折返片（１３）とを接続する場合、ショーツ（１６）外面側に折り返した一側折返片（１２）のオス型のベルクロスファスナー部（１４）の表面を、幅広の他側折返片（１３）によって確実に被覆する事ができる。その結果、使用者が着用するストッキングに、オス型のベルクロスファスナー部（１４）が接触する事がなく、ストッキングの伝線、傷等を防止できる。

【００３２】

また、一側折返片（１２）および他側折返片（１３）は、ベルクロスファスナーテープに代え、自己密着性の高いゴム系樹脂、オイル系樹脂等と、平滑性面を形成し易いポリエチレンテレフタレート等との組み合わせから成る選択接着テープによって形成する事が可能である。このように形成すると、ベルクロスファスナーテープを使用する場合に比較し、嵩張らず薄型に形成できる。

【００３３】

上述の如く構成したものに於て、生理用ナプキン（１７）を使用するには、まず、股下まで降ろしたショーツ（１６）の内面に、ナプキン本体（６）の止着部（２）を止着する。このナプキン本体（６）は、膨出部（８）の表面シート（５）側の両側に、一側折返片（１２）および他側折返片（１３）を止着固定している。そのため、折り返す前の一側折返片（１２）および他側折返片（１３）は、図１、図２に示す如く、表面シート（５）の上面に位置し、ショーツ（１６）内面の止着部（２）側への垂れ下がりを防止する。このため、止着部（２）を、直ちにショーツ（１６）の内面に止着でき、手間を掛けず、簡便な止着が可能となる。

【００３４】

また、一側折返片（１２）および他側折返片（１３）を膨出部（８）から外方に折返した後、ショーツ（１６）を引き上げて着用する。そして、ショーツ（１６）の股部から両側に突出する一側折返片（１２）および他側折返片（１３）をショーツ（１６）の外面側に折り返す。

【００３５】

この折り返し方法は、一側折返片（１２）をショーツ（１６）の外面側に折り返した後、この一側折返片（１２）の外面側に重ねて他側折返片（１３）を折り返す。この折り返しによって、一側折返片（１２）のオス型のベルクロスファスナー部（１４）と、他側折返片（１３）のメス型のベルクロスファスナー部（１５）とが係合し、一側折返片（１２）と他側折返片（１３）とは、図３に示す如く、ショーツ（１６）の外面側で接続固定できる。

【００３６】

この装着状態は、ナプキン本体（６）をショーツ（１６）内面に固定し、さらに、一側折返片（１２）と他側折返片（１３）とを、防漏シート（１）の外面側で接続固定するから、使用者の激しい運動等にもズレを生じにくく、ショーツ（１６）の股部に一体的にフィットして固定でき、安定した装着が可能になるものである。

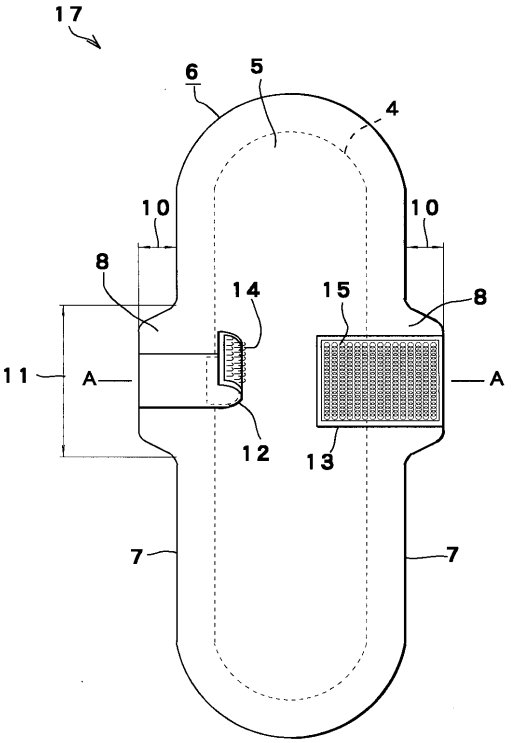
【００３７】

【発明の効果】

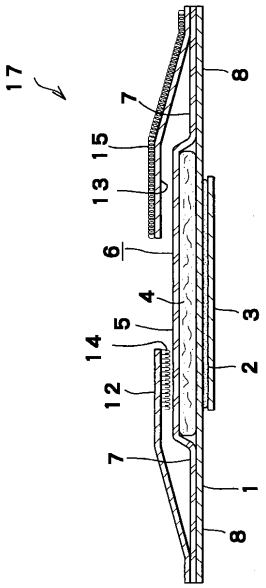
本発明は上述の如く構成したものであるから、生理用ナプキンを使用する場合、一側折返片と他側折返片とを、ホットメルトや離型紙の不要なベルクロスファスナーテープまたは選択接着テープによって形成するから、従来方法の如く、離型紙を廃棄する手間が掛からず、使用者の負担を大幅に軽減する事ができる。また、使用時に剥離して廃棄される離型紙の使用量を少なくする事によって、資材の有効な利用を行い、廉価に形成できる。

【００３８】
また、一側折返片および他側折返片を形成する、ベルクロスファスナーテープおよび選択接着テープは、同一種類の部材または特定の部材にのみ止着を可能とする。そのため、使用時に於て、従来方法の如く、使用者の手にホットメルトが纏わり付いたり、止着位置が外れた場所に付着してしまう事がなく、使用者に手間を掛けず、簡便で確実な接続固定作業が可能になる。
【００３９】
また、一側折返片と他側折返片との一端を表面シート側に固定し、この一側折返片と他側折返片とを固定した膨出部は、固定部を防漏シート側に折り込んでループ状に折り返す。そのため、折返片との止着固定によって硬くなった固定部は、側面に突出する事なく、防漏シート側に折り返した膨出部によって被覆される。このため、固定部は使用者の肌に接触する事がなく、肌への違和感を防止して、装着感を良好とする。
【００４０】
また、生理用ナプキンは、従来方法のウイング部とは異なり、一側折返片と他側折返片とを、ナプキン本体とは別体の資材で形成している。そのため、表面シート、防漏シート等に、ウイング部の突出幅を考慮する必要がなく、ナプキン本体からウイング部を一体的に形成する従来方式の生理用ナプキンに比し、幅の小さい資材の使用が可能となり、資材を有効に利用して、廉価な製品を得る事が可能となるものである。
【図面の簡単な説明】
【図１】本実施例の生理用ナプキンの平面図である。
【図２】図１のＡ－Ａ線端面図である。
【図３】使用状態を示す拡大端面図である。
【符号の説明】
１　　防漏シート
２　　止着部
４　　吸収層
５　　表面シート
６　　ナプキン本体
８　　膨出部
１２　　一側折返片
１３　　他側折返片
１４　　ベルクロスファスナー部
１５　　ベルクロスファスナー部
１６　　ショーツ

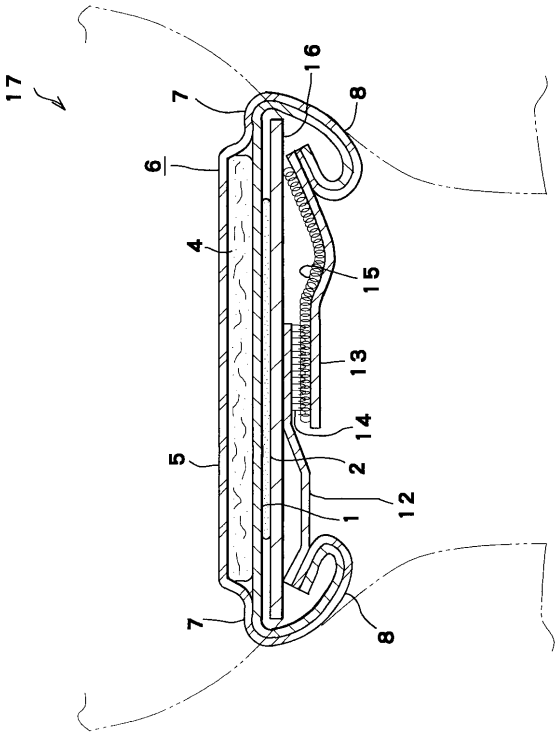
【図１】


17
6
5
4
10
10
8
14
15
8
11
A
A
12
13
7
7

【図２】


17
8
7
15
13
6
4
3
5
14
2
12
7
1
8

【図３】


17
16
7
8
6
4
15
13
14
5
2
12
1
7
8

フロントページの続き

(56)参考文献 特開平０５－２９３１３９（ＪＰ，Ａ）
実公昭５０－０１０７１８（ＪＰ，Ｙ１）
実開平０２－０９８９２６（ＪＰ，Ｕ）

(58)調査した分野(Int.Cl.[7]，ＤＢ名)
A61F 13/15 - 13/84